

# そよ風



- 1 夏祭り
- 2 夏祭り
- 3 療育活動
- 4 療育活動
- 5 療育活動
- 6 学会参加報告
- 7 自衛消防審査会  
院内研修
- 8 人事異動  
編集後記

## 今2010年 夏祭り

夏祭り実行委員長 指導員 難波正弘



みなさん、昨年の夏祭りを覚えていますか？びっくりするような集中豪雨で、大変残念な思いをされた方も大勢いらっしゃったのではないのでしょうか？

さあ今年は・・・雨の気配なんて全くなく、「暑いですね～」といった声があちこちで聞かれました。そんな猛暑のなか、みなさんにとっても、そして私たちスタッフにとっても「2年分の思い」を乗せた夏祭りが行われました。

今回は、新たなチャレンジとして、多数のアトラクションを用意しました。毎年大人気の「似顔絵屋さん」や「ピエロ」のパフォーマンスショーに加え、プロの技で指先のオシャレを楽しんでもらおうと、「ネイルアート」を企画しました。「てんとう虫」や「ニコちゃんマーク」などの模様が描かれ、利用者のみなさんのドキドキ、ワクワクした表情がとても印象的でした。踊り部門では、毎年恒例の「盆踊り」の他、新たに沖縄民謡舞踏の「エイサー」が加わりました。力強い演奏と踊りは、見るものを引きつけ、また踊っている子供たちもかわいかったですね～。ドラム缶を切った不思議



な楽器「スティールパン」を使用した演奏会では、幻想的な世界を表現していました。心温まる優しいメロディー、奏者の女性に魅了されたのは私だけでしょうか。そしてもうひとつ、「バルーンアート」は、風船がいろいろな動物に変身するメルヘンの世界で、こちらも人気スポットの一つでした。外周道路の模擬店に目を移すと、職員とボランティアさんの熱意が感じられ、美味しそうに食べたり飲んだりするみなさんの笑顔が飛び込んできました。そうそう、ゲームコーナーにはサッカー日本代表の大パネルもありましたね～。みなさんごらんになりましたか？お腹もいっぱいになり、いよいよ夏祭りのラストを飾る「花火」！！とってもきれいでしたね～。花火は毎年涼しげな風を運んでくれます。少しの時間でも、猛暑を吹き飛ばしてくれたことでしょう。

最後になりましたが、たくさんのボランティアさん、花火師さん、外部参加者、利用者のみなさま、スタッフをはじめとする、センター各部署の全てのみなさまの協力があったからこそ、楽しい夏祭りが開催できたと思っております。実行委員を代表いたしまして、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。そして、来年もお楽しみに・・・



## ●●療 育 活 動●●

第一病棟

夕涼み会

指導員 田中 智子

第一病棟では、夏といえば ... 花火! ということで、8 月 27 日(金)18 時半から夕涼み会を開催しました。当日は、いつもより少し早めに夕食をすませ、いざテラスへ。

まだ少し明るい空の下、手持ち花火を持って、いざスタートです! 光に驚いた表情を見せる方、昔の記憶を思い出しているかのようにウツリとした表情を見せる方など、楽しんでいる様子が見られました。

手持ち花火の後は、ドラゴン花火の連発で第 1 弾のフィナーレです。「おお〜」という歓声の中、テラスでの花火は終了しました。続いて第 2 弾は、ベッドサイドでの開催です! 居室からでも見られるようにベッドの位置を調整し、ドラゴン花火のスタートです。いつもとは違う光の景色に目をキョロキョロさせてじっと見入っていた方、花火が上がった瞬間に笑顔になる方、様々な表情を見せてくれていました。お母様からも「とても良かった」等のうれしいお言葉を頂きました。

来年もまた開催出来ますように☆



第二病棟

すいか割り

保育士 豊川 尚平

先日、第二病棟で毎年恒例のすいか割りを行いました。すいか割りと言えば木の棒で割るものですが、その棒がなかなか見つからず、用意できたのは野球に使うバットと守衛さんから借りた物干し竿。こんなんで利用者さんは納得してくれるだろうかと心配だったんですが、いざすいか割りが始まると皆さん楽しそうに参加されていました。

今回使用したすいかは栄養科さんから上げていただいたものと、我が第 2 病棟で春先から職員と利用者さんとで水をやり育てた小玉すいか 3 つでした。このかわいらしい小玉すいかが曲者で、割ろうにも小さいが為に棒が当たらず、皆さん苦勞されていました。棒がやっと当たりすいかにひびが入ると「お〜。」と声上がり、パカッとすいかが割れて中のきれいな赤色が見えると「わ〜。」と歓声と笑顔が病棟の中にあふれました。

行事だけではなく、こういう小さな活動を通して利用者さんに季節を感じていただけて、いい時間を過ごせたなと感じました。



## 第三病棟

## フルーツバイキング

指導員 藤川 由紀子



第三病棟では、昨年より、季節にちなんだ内容で病棟主催の『バイキング』を行っています。今回はみなさんにバイキングのほんの一部をご紹介します。

今回ご紹介するのは「爽やかな夏」をイメージし行った『フルーツバイキング♪』。まずはダイルームに集まり、みんなでフルーツの匂い当てゲーム。匂いを嗅いでフルーツを当て、フルーツの木を完成。みんなの嗅覚を刺激し、準備万端に。いざ、食堂へのカーテンを開けると!! 綺麗に盛りつけられたフルーツの山!! フルーツを目の前に、「どれがいいかな?」、「あれも、これも」と目が輝いていました。食べたいフルーツを自分で選び、笑顔いっぱい。マンゴーやパイナップルなど普段病棟では味わうことの少ない生のフルーツをたっぷり味わいました。

9月に入ってもまだまだ暑い日が続きますが、太陽いっぱい浴びたあま〜いフルーツを食べてみなさんも暑さを乗り切りましょう。次回はどんなバイキングかな?

## 第四病棟

## ある夏の日の療育活動

看護師 吉田 友美子

今年の夏は、毎日暑〜い日ばかり…。そこで、8月の療育活動ではプレイルームでの水遊びをやりました。テーマはズバリ『水鉄砲を撃ちまくれ、狙いを定めてお魚ゲット!ゲーム』。

プレイルームの窓には、貝やカニやタコや魚などが泳いでいます。Kさんがタコに狙いを定めています。水鉄砲発射! あーあ、近くにいた職員さんに水がかかってしまいました。気を取り直してもう一度、狙いを定めて発射!

今度は見事に命中! しかし敵もさるもの、なかなかつかまりません。狙いを定めてもう一度。やったー! タコを捕まえました。20点 Get です。もちろんタコは今晚の夕食のおかずです。

今度はMさんの番。Mさんは魚を狙っています。何度も何度も格闘してやっと捕まえました。でも得点は5点。“あーあ”という顔をしています。

しかし、利用者の皆さんは大漁にご満悦。何よりも水鉄砲で撃ちまくった爽快感の方が良かったみたいです。とにかかくにも、プレイルームには楽しい笑い声がいっぱいでした。

通所

遠足「高尾の森わくわくビレッジ」

指導員 水野 豪

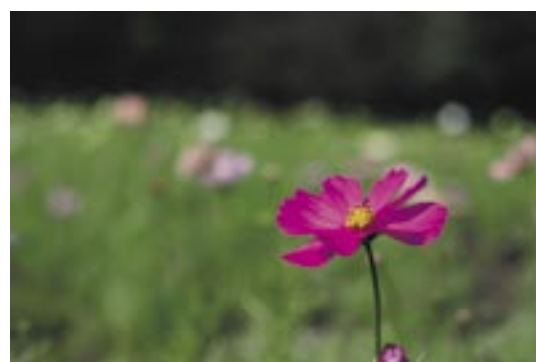


酷暑や台風 9 号に前日まで頭を悩ませていた遠足委員をよそに、9 月 9 日遠足当日は爽やかな青空。5 台のバスに乗り込んだ通所遠足第 1 班は「高尾の森わくわくビレッジ」を目指しました。

各バスの中で賑やかなレクリエーションやお喋りをしているうちに現地へ到着。そこは宿泊施設や公園、食堂や工作室等を備えた広大な研修施設。

様々なメニューを組み合わせられるカフェテリアで昼食を楽しんだ後は、工作室「はっけんひろば」に移動して革のミサン

ガ作りを体験。もはや「ミサンガの先生」と呼ばれるまでに上達されたご家族のお陰で、皆さんに素敵なお土産が出来ました。と思ったら窓の外から声が…。そこにはなんと、利用者の方々とご家族がアスレチックのターザンロープや滑り台で遊ぶ姿が！好き勝手やっているなあ…。この伸び伸びした通所の皆さんが、僕は大好きです。





## 学会参加報告



—第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会に参加して—

医長 荒木 克仁

9月3日、4日に新潟で行われた、第16回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会に参加してきました。この学会は、会員数は7500人程度ですが、参加職種が(多い順に)、言語聴覚士、歯科医師、看護師、医師、栄養士、歯科衛生士、作業療法士、理学療法士、介護職員(保育士、児童指導員含む)、その他と幅広いのが特徴です。また、学術大会の参加者も5000人を超えて、参加率が非常に高いというもうひとつの特色があります。テーマを「摂食・嚥下リハビリテーション」に絞った学会ですが、今回の一般演題数は約650と非常に多く、それだけ個別のニードが多く、マニュアル化されていない発展過程にある分野の学会といえます。

私は、前日夜から新潟に住んでいる息子の下宿に泊まり、3日の開会式から参加しました。当日朝は開場間もない8時5分頃に会場に着きましたが、開会式までまだ1時間あるというのに会場はすでに多くの参加者であふれ、ランチョンセミナーの整理券もほとんどなくなっているという状態でした。学術大会初日の朝からこんなに人が集まっていることはあまり経験がないので、正直なところ少しびっくりしました。

今回の学会のテーマは「理念に基づく摂食・嚥下リハビリテーションの構築に向けて」でした。会長講演では実際の症例を呈示しながら、「人の数だけ人の価値観がある」、「変化なき(リハビリテーションの)効果」、「変わらないこと(機能低下がないこと)の価値観」について話をされ、「科学的な説明のみが患者にとっての真実ではない」という考えに立った「理念に基づいた医療」を提唱されました。口演会場では椅子に座りきれずに立ち見が多数出るなど、どの会場も参加者であふれ、企業の展示スペースも常にたくさん人が集まるなど、参加者の熱意が肌で感じられました。個々の発表については省略しますが、演題数が多すぎてじっくり見たり聞いたりできなかったのが難点でした。

センターからは、私以外に曾根リハビリテーション科長、吉野看護長、水上歯科衛生士が参加しました。吉野さんは初日のポスターセッションで症例発表され(写真)、水上さんは2日目に座長を務められました。

現在センターでは摂食・嚥下チームを作り、月1回摂食外来を開いています。また、必要に応じて病棟で摂食評価に入ってもいます。この学会の「認定士」も6人おり、今回の学会で得られた情報を今後の診療に生かしたいと考えています。



## 平成 22 年度自衛消防審査会

10 月 15 日、東京経済大学村山校舎に於いて北多摩西部消防署管内の自衛消防隊が一堂に介して消防審査会が行われました。

センターからは指揮者：豊川尚平（第 2 病棟保育士）、1 番隊員：長谷川雅也（第 1 病棟看護師）、2 番隊員：三村さやか（医療ソーシャルワーカー）、補欠：緑川治男（事務部医事係）が参加し、日頃の訓練の成果を発揮してきました。

今後も不慮の事態に備え、一層の努力を続けて参ります。



### 7・8・9月の院内研修

基礎コースⅠ	・安全管理
基礎コースⅡ	・摂食嚥下障害ケア ・呼吸ケア
基礎コースⅢ	・安全管理 ・プール活動
一般コース	・看護診断（第 1 回）初級 ・看護診断（第 2 回）中級 ・療育研究（第 3 回）
専門コース	・摂食嚥下障害ケア（第 2 回） ・呼吸ケア（第 2 回）

### 10・11・12月の院内研修予定

基礎コースⅠ	・呼吸ケア	10/12（火）
基礎コースⅡ	・看護（療育）記録	11/11（木）
基礎コースⅢ	・安全管理 「職場における感染防止対策」	11/25（木）
	・2年目のまとめと課題（第 1 回）	10/15（金）
	・摂食嚥下障害ケア	11/5（金）
	・呼吸ケア	12/3（金）
	・療育（看護）記録	10/7（木）
一般コース	・療育研究（第 4 回） ・療育研究（第 5 回）	10/1（金） 11/19（金）
専門コース	・摂食嚥下障害ケア（第 3 回） ・呼吸ケア（第 3 回）	10/21（木） 10/29（金）

## ●○● そよ風くんのひとこと ○●○

ストレッチ  
わずか 5 分が  
身を守る

おひとりで  
やる**勇氣**より  
声かけて



---

**編集後記**

記録的な猛暑がいつまで続くのか不安でしたが、秋分の日を境に秋らしくなってきましたね。コスモスの花が風に揺れてきれいです。(M.O)

あれほど暑かったのに、一気に冬のような寒さです。思わずおでんをつくってしまいました。冬になると、やはりおでんが恋しくなりますね。(Y.S)

食欲の秋ですね！カレーライス・カツ丼・牛丼・天丼 etc. 食べ過ぎ注意報で、運動が必要な今日この頃の私です。(M.N)

---

**そよ風第 62 号**

編 集 院内報そよ風編集委員会

発行日 平成 22 年 10 月 15 日

発 行 東京都立東大和療育センター

東京都東大和市桜が丘 3 - 44 - 10

☎ 042-567-0222

印 刷 有限会社 はじめ印刷

☎ 042-560-3031

---